

平成24年度 第1回 蕨市公民館運営審議会 会議録

開催日時	平成24年7月3日(火) 午後13時30分～14時30分
会場	中央公民館1階 講座会議室
出席者	上野会長、梅田副会長、松原委員、塘委員、内海委員、大貫委員、菊池委員、宮田委員、小澤委員、大鷲委員、高野委員、園川委員、長谷川委員 13名 坂本館長(中央)、倉石館長(東)、加藤館長(西)、加納館長(南)、石丸館長(北)、竹内館長(下蕨)、岡本館長(旭町)、松永係長(中央)、安部(中央) 9名 福田主幹、鈴木係長 2名 ＜合計＞24名
欠席者	中村委員、皆川委員
会 議 内 容	
<p>＜公民館運営審議会＞</p> <p>午後13時30分</p> <p>1. 開会</p> <p>2. 会長挨拶 副会長挨拶</p> <p>3. 報告事項</p> <p>(1) 人事異動について 別添資料に基づき、中央公民館長から説明</p> <p>(2) 平成24年度事業報告について 別添資料に基づき、中央公民館長から説明</p> <p>7. 協議事項</p> <p>(1) 平成24年度公民館重点施策、主な事業及び予算について</p> <p>内海委員：前回の審議会において、合宿通学の運営側への問題提起があったが今年度の改善点、変更点はあるか。</p> <p>加藤館長：前回は報告事項としてとりあげられた。23年度は5地区終了後、生涯学習課にて、意見交換会・研修会、コーディネーター研修を行った。24年度は指導員研修会・実行委員会研修会を生涯学習課にて予定している。</p> <p>石丸館長：昨年は現状について各地区の実行委員3～4名に話してもらった。各館それぞれに独特の問題も現状としてあるが、共通事項を出していた。例えば、指導員を見つけることが困難であるということなどである。24年度の指導員事前研修は現在、指導案が出ている状況である。</p> <p>＜各公民館からの重点事業報告＞</p> <p>各公民館長から</p> <p>会長：公民館運営審議会は公民館と市民のパイプ役である。多くの方の協力に対する努力も必要である。新しい公民館利用者拡大もこころがけるなかで事</p>	

業の形も変わっていくのではないか。

高野委員：24年度予算について質問。13委託料の地域文化振興事業委託料（桜のまち南町文化展）は、毎年決まって南公民館に行くのか。

加納館長：基本的には予算要求して行う。3月で17ないし18回目となるが予算がついたのは今回2回目。それ以前は実行委員会がバザー等で資金集めをしていた。その実績を認めてもらったうえでのこの資金計上である。

5万円の根拠であるが、これだけで事業全体を賄えるわけではなく、市内在住の画家の絵を借りる等した後、必要経費だけでもみてもらえないかということを確認していただけた。予算潤沢ではない中、お金のかからない講師を呼ぶ、講師の方の謝礼への理解もあってやっている。

8. その他

生涯学習課から、「学校土曜塾（仮称）」についての説明

鈴木係長：市長マニフェストの一つで25年度に開始予定。内容は別紙のとおり。学校施設で教室を利用し、毎週土曜に行く。安全管理面で地域の方にご協力してもらおう予定である。事業内容は検討中。今後、準備委員会（校長会、学校教育課、生涯学習課からなる）を設置し、検討する。地域の方の意見を取り入れ、変更の可能性もある。各校30名、広さ、状況、スタッフ数で変動あるが、各学校単位で実行委員会設置して進めていく。1時限45分なので9時30分からの45分×2で、午前中の終了を考えている。場所は市内小学校の一時的に余裕ある教室、特別教室で行う。平成25年度は2、3校での実施、順次7校に広げていく予定。基礎学力の向上と、自主学習による学習習慣の定着を図る目的で行うため、基本的に自主学習の形式をとる。学習アドバイザーがサポートする。これとは別に1、2ヶ月に1回程度、レクリエーションを目的に特別授業でものづくり等を行う予定である。参加費は無料。しかし、実費は負担。各学校実行委員で運営。

スタッフは実行委員長、学習アドバイザー（教員志望の学生、退職後の教員で各校2、3名）、安全管理員。

施設管理の面で一番大きな課題は休日の学校使用ということもあり、立ち入り制限をする。立ち入り禁止は私物管理面からの普通教室と事務局等。可動式仕切りで区切ったうえで昇降口、トイレ、水道を使用可能とする。

園川委員：行う内容は決まっているのか。

鈴木係長：決まっている。

園川委員：内容審議機関はあるのか。

鈴木係長：準備委員会を立ち上げ、メンバーとして校長会の会長・副会長、学校教育課、生涯学習課加わり、内容を検討中。

園川委員：地域の方との協力は難しい。自身が関わっている放課後こども教室では、関わる後継者が育たないという問題点がある。このようなことを繰り返さないために今後はどうするのか。何か改善点はあるのか。

鈴木係長：現在検討しているのは事業の大枠。各学校で特色出るかと思うが、今は事業の基本を検討中。その後各実行委員会に移る。

園川委員：校長会ではok出ているのか。

鈴木係長：各校長には話はしている。後日校長会で依頼予定。

上野会長：県でもこのような事業は重点的に行われている。多面的展開が期待されていると思うが関わる人の負担が大きいので園川委員のような意見が出ているのでは？検討委員会も地域の人が入ったら良いのではということではないか。そのような予定はあるのか。

鈴木係長：今は基礎を固めている段階。実行委員会組織してからそのようなこと検討していく予定。今回は理解していただくために提示した。

堤委員：公民館利用団体からの意見。旭町公民館において2時間予約の部屋を1時間利用の場合、他団体が残りの1時間を使うことはできないのか。

岡本館長：条例では朝・昼・夕方3区分と決まっている。公民館側から利用者に利用時間の短縮の依頼はしていない。自主的判断として利用者にまかせている。

大鷲委員：利用している中央公民館についてだが、利用者同士のあいさつが少ないと感じる。

坂本館長：職員も心懸けているがよりよい雰囲気になるよう努力していきたい。

上野館長：意識の啓発すすめていければ

梅田副会長から挨拶

事務局から公民館パンフレットについて説明

閉会